

## 令和2年度事業報告

令和2年6月19日開催の第55回通常総会において報告した令和2年度事業計画および予算のもと事業を進めましたが、新型コロナウイルス感染症の全国的な広がりの中で、協会の活動は大きく影響を受けました。

協会事業を進めるにあたっては、徹底したウィルス感染防止対策を図るとともに、「緊急事態宣言」「まん延防止等重点措置」発令時における事業実施の可否を定める判断基準を設定し、円滑な事業遂行態勢を整えました。その上で、ATS シンポジウム（10月）並びに航空気象シンポジウム（11月）はWEB機能を利用した開催方法によって実施し、小型航空機セーフティセミナー（3月）は動画配信による方法で実施しました。その他の各種セミナー・イベントに関しては、Yes I Can 航空教室・TEM/CRM セミナー・航空安全講習会・RNAV 講演会などは参加人数を絞るなど十分な感染予防対策を取り開催を進めました。

また、関係省庁等主催の各種委員会・協議会への委員派遣や各種機関からの要請による講師派遣についても、実参加に加え書面開催・WEB開催への参加等、コロナ感染状況に応じた参加対応を行いました。

器材更新に伴う事業中断が年度当初より続いているFTD事業については年度内再開を目指しておりましたが、模擬飛行装置としての機能改善及びコロナ感染予防対策として器材の設置環境改善を行っており、事業再開は次年度への持ち越しとなりました。一方、全国各地で行われる各種イベントにおいて使用出来るように、運搬容易なポータブルFTDを導入し、航空の裾野拡大に役立てることとしました。

こうした中、東京では令和3年1月8日から3月21日までの間、昨春に続き2度目となる「緊急事態宣言」が発令され、多くの各種セミナー・イベントについて中止または延期対応を取らざるを得なくなりましたが、令和2年度全般に渡っては、公益法社団法人としての役割を果たすべく、出来る限りの工夫を行いながら以下の事業を実施しました。

### 『事業別内容』

#### 1. 航空の安全文化の普及と啓発（定款第4条1項）

##### (1) 「Yes I Can 航空教室」「女性航空教室」

航空業界を目指す学生等の進路選択に有益な情報提供を行うことを目的として、「Yes I Can 航空教室」を全国9箇所（5月愛知、北海道、6月東京、沖縄、10月福岡、12月大阪、2月愛媛、3月宮城、新潟）で計画しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による開催中止が相次ぎ、福岡会場のみで開催となりました。

また、「航空機操縦士養成連絡協議会」の取り組みの一環として、操縦士等航空産業分野を目指す女性を対象とした「女性航空教室」については、他の団体と協調し3月に実施する計画として進めましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により中止となりました。

##### (2) 航空局、関連団体が開催する委員会、検討会等

各種委員会や検討会に理事を派遣し、航空機の操縦経験に基づいた知見を持って助言や提言を行いました。

- ・将来の航空交通システムに関する推進協議会（CARATS）

- ・小型無人機に係る環境整備に向けた官民協議会
- ・空港技術懇談会
- ・成田空港カーフェュー検証委員会 等

小型航空機等の安全対策については、「小型航空機等に係る安全推進委員会」委員として参画し、操縦士の視点で課題の提起、情報、意見を発言し積極的に安全推進活動を行いました。

### (3) 外部講師派遣

航空管制や空港運用業務に携わっている方々の研修制度へ理事を派遣し、航空機の基礎知識、操縦士から見た安全運航の考え方や要望などの情報提供を行っておりますが、令和2年度は以下のとおりとなりました。

- ・航空保安大学校（SDJ/KIX）：共に中止
- ・航空機安全支援センター：2 講師分の資料送付
- ・航空交通管制協会（NRT）：計画どおり実施

#### [公1 事業]

スカイスクエア【開催中止】

航空教室（Yes I Can）

FTD を利用した裾野拡大【開催中止】

関係省庁主催委員会 委員派遣

#### [公2 事業]

航空安全セミナー

## 2. 安全対策（制度と運用）（定款第4条2項）

### (1) 航空安全講習会

航空局通達国空第 2077 号に基づいた「航空安全講習会」を、JAPA 主催対応として全国 5 箇所（7 月熊本、8 月埼玉、9 月沖縄、10 月大阪、3 月東京）で計画しましたが、東京開催が中止となったが、4 箇所（総参加人数 117 名）で実施し、安全意識の向上を図りました。

(2) 安全対策、運航方式、航空身体検査基準の見直し、航空従事者学科試験問題等を検討するにあたり、安全推進及び対策の見地から実運航に即した内容が反映されるよう努めました。

#### [公1 事業]

航空医学適性セミナー【開催中止】

学科試験問題検討委員会運営

操縦士養成連絡協議会事務局

#### [公2 事業]

航空安全講習会の開催

VOICES への参画及び情報提供

## 3. 情報(知識)の伝達と提供（定款第4条3項）

### (1) 「ホームページ」「パイロット」「メルマガ」

ホームページを通じ、航空局通達、航空安全および航空技術情報をはじめ、航空身体検査に関するQ&A等、様々な情報を配信しました。

また特定の会員層のみならず、幅広い対象者に協会活動の紹介を行うことなどを目的に、機

関誌「パイロット」の年2回の発行をはじめ、メールマガジン（年24回発行）を通じ、航空界のみならず航空に興味を持つ方に広く提供しました。

(2) パイロット手帳

航空機を安全に操縦するための情報を利便性の高いパイロット手帳に掲載し、10月に8,000部発行しました。

(3) 小型航空機セーフティーセミナー

小型航空機の事故防止のための操縦士に対する安全啓蒙を主目的とし、指導的立場にある操縦士ならびに運航関係者の方への知識拡充を目指しているセミナーです。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により実開催を中止し、事前収録により動画配信形態として実施致しました。

(4) ATS シンポジウム

パイロットと管制官の共通の理解を深めるため、「安全で効率の良い運航と航空管制」を題目とし10月にオンライン形式で開催しました。WEB会議システムによる講演と事例紹介、研究発表を生配信致しました。

(5) 航空気象シンポジウム

操縦士およびその他の航空関係者との意見交換の場として、11月にオンライン形式で開催しました。「霧・低視程と航空機の運航」を題目として、WEB会議システムによる講演と公開座談会を生配信致しました。

(6) AIM-JAPAN

NPO 法人 AIM-Japan 編纂協会が編纂する AIM(Aeronautical Information Manual 日本語・英語版)を年2回発行しました。

運航に必要な管制方式・手順、航空法、航空気象、幅広い情報が集約されており、航空界全般に広く当該情報を提供しています。

[公1事業]

航空情報提供（「ホームページ」・「パイロット」「メールマガジン」等）

航空の安全、技術を含む情報提供：「パイロット手帳」の発行

[公2事業]

小型航空機セーフティーセミナー

シンポジウム：ATS／航空気象

参考文献及び教材提供

「区分航空図」「TAKE OFF」「学科試験問題集」「AIM-J」等

#### 4. 技術習熟の支援（定款第4条4項）

(1) TEM／CRM セミナー

小型航空機操縦士向けに運航における安全性とインシデント防止を図るため、TEM／CRM セミナー（基礎コース1回（10月）、SRM コース1回（2月））を計画し、基礎コースは実施、SRM コースは中止となり、2021年5月開催予定に変更となりました。

また、小型航空機を運航する法人を対象とし、基礎コースを2社で実施しました。

(2) RNAV 講演会

小型航空機の運航者を対象に RNAV の普及の一助として、RNAV 航行を実施する際の基礎知識の付与を目的に、RNAV 講演会を1回（11月）に開催しました。

[公2事業]

TEM/CRM セミナー

RNAV 講演会

FTD を使用した技術習熟の支援 【器材更新に伴い事業中断】

5. 情報収集と調査研究（定款第4条5項）

(1) 各支部・委員会活動

航空界の安全に資する調査、研究を通じて操縦士の知識・技術の向上を図るべく活動しています。

[支部活動]

北海道/東日本/中部/西日本/九州/沖縄

[委員会活動]

エアライン/ジェネラル・アビエーション/ビジネス航空/フライトテスト/運航技術/  
ATS/航空気象/航空医学/乗員養成検討

(2) FAI (Fédération Aéronautique Internationale)

航空スポーツ統括団体として諸外国の運営実態等を調査すると共に、FAI スポーツ委員会総会がオンライン開催され FAI 分科会委員が参加した。

[国際機関を通じた情報把握・提供]

FAI (総会・分科会)

[公2事業]

航空業界における情報収集、諸研究のフィードバック

6. その他、本協会の目的を達成するために必要な事業（定款第4条6項）

(1) 会員の福利厚生制度として、所得補償保険事業を実施しました。

(2) 航空界に貢献した方々への表彰関連事業を実施しました。(以下参考)

[他1事業]

会員福利厚生 (所得補償保険事業、書籍割引購入等)

航空功労者への表彰関連事業

[参考]

表彰規定に基づく褒章・表彰関係受章者一覧 (敬称略)

・春季黄綬褒章 : 早坂 昭夫 (全日本空輸)

・秋季黄綬褒章 : 早川 秀昭 (全日本空輸)

大川 弘史 (ジェイエア)

・国土交通大臣表彰 : 大村 直弘 (日本航空)

今井 裕、佐野 克彦、田中 繁和 (以上 全日本空輸)

久場 広一郎 (エアージャパン)

林 讓治 (ジェイエア)  
 小林 明 (ANA ウイングス)  
 嘉陽 宗章 (日本トランスオーシャン航空)  
 香野 俊之 (琉球エアークommューター)

- ・大阪航空局長表彰 : 石田 進 (川崎重工業)
- ・日本航空協会
  - FAI エアスポーツメダル : 室屋 義秀
  - 航空亀齡賞 : 五島 登
- ・日本航空機操縦士協会
  - 会長表彰 : 久田 勝紀、内野 徹 (全日本空輸)
  - 会長奨励賞 : 舟越 裕之、瓜生 優、大杉 僚 (航空大学校)
  - 朝倉 佐央里 (法政大学)
  - 河田 拓万 (桜美林大学)
  - 小林 風馬 (帝京大学)
  - 千明 慧悟 (東海大学)
  - 安間 基気 (崇城大学)

『会員情報』 会員数 (令和2年度末現在) (人)

会員種別		会員数	
正会員	定期	3,406	5,031
	事業用	1,089	
	個人	536	
終身会員		1,238	1,238
賛助会員	個人	159	215
	法人	56	
準会員		561	561
合計			7,045

【参考】

公益社団法人である本協会の事業は、公益目的事業とその他事業に分類され、更に公益目的事業は事業の性格により、2つに分類され、内閣府より認定を受けています。

航空の安全文化の普及と諸般の調査研究を対象としている事業・・・公1
運航の安全に資する知識の向上と情報提供及び調査研究を対象 としている事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・公2
本協会の目的を達成するために必要な事業・・・・・・・・・・・・・・・・他1

附属明細書

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。